

40 ■ 小鳥のさえずるカタクリの里

秋山郷 (中魚・津南町)

■環境：山地
 ■対象：一般
 ■期間：5月中旬～10月下旬

長野県境にまたがる秋山郷は12の集落の総称で、古くは平家の落人の里として知られ、日本でも有数の豪雪地である。見倉は風穴やカタクリの里、自然の宝庫として知られ、野鳥をはじめそこに生息する動植物は多い。

秋山郷は辺境の地であるから、日帰りの探鳥は時間的に厳しい。宿泊するとなれば夜鳴く鳥を聞くチャンスは逃す訳にはいかない。秋山郷の特徴は森林性の鳥類が豊富なことであるが、さらに魅力的な夜鳴く鳥を紹介しよう。

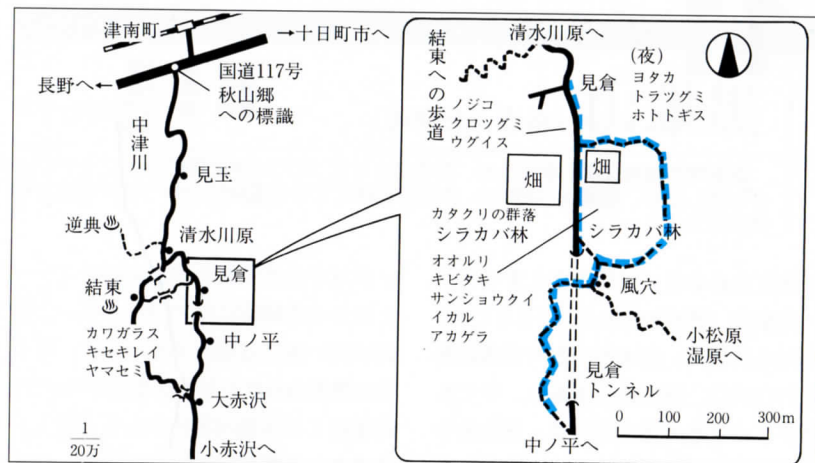
秋山郷には探鳥場所は随所にあるが、ここでは見倉を案内する。見倉トンネル(工事中。開通は平成10年以降の見通し)の見倉側入り口である。

日が落ちて、夕暮れとなったら出かけよう。道路わきに車を止めて降りた

てば、まずホトトギスが聞こえるだろう。ツツドリも一緒に鳴いたりもする。あたりが夕やみに包まれるころ、いよいよコノハズクが鳴き始める。その声はいつまでも続く。そのうちコノハズクの声の合間にトラツグミが寂しそうに鳴きだす。同じころヨタカがせわしそうに鳴く。そしてそれらの鳥の声は夜半まで山の夜の静けさをすり抜けて遠くまで伝わっていく。車を降りたその場ですぐにコノハズク、トラツグミ、ヨタカを開けるところはなかなかあ



秋山郷のシラカバ林



るものではない。

朝の探鳥ならば散策路をたどるとよい。1km弱のこの道は、シラカバ林から入って、風穴の手前を左に折れて一巡する道であるが、ブナ、ミズナラ、サワグルミ、トチ、ホウの高木で覆われている。朝の鳥のコーラスはまるでオーケストラのようで圧巻である。オオルリ、クロツグミ、キビタキ、メジロ、ウグイス、サンショウクイ、センダイムシクイ、イカル。これらが一斉に鳴きだす様子はまさに壮観である。

もう一つの朝のコースは風穴の前を通るトンネルの上部の旧道である。道は多少荒れているがアカショウビン、メボソムシクイ、ヤブサメ等のさえずりを聞くことができる。

また、中津川やその支流に降りたてば、カワガラス、ミソサザイ、キセキ

レイ、ときにはヤマセミなど溪流性の鳥の姿が観察できる。

(桑原民生)

メモ

交通 列車、バスの便が悪く自家用車が適している。十日町方面から117号線を津南で左折して見倉まで約15km。バス利用の場合は津南町大割野から秋山郷方面(前倉行、和山行、切明行)に乗り、逆巻温泉か上結束で下車。宿泊は、結束温泉と逆巻温泉が近くて便利。見倉の現地までは宿のマイクロバスを頼むとよい。

☑ 駐車場はないが路上駐車可。

トイレはない。

見倉から結束への歩道があり、県の名橋50選の一つ見倉橋がある。つり橋で渡ってみるのもよいが、道が急峻なため健脚向きである。

長野県側の秋山郷には屋敷温泉、和山温泉、切明温泉と多くの温泉があり、いずれも探鳥地となる。